

就労選択支援事業所指定基準別表

就労支援センターあるく

別表

(さっぽろ障がい者プランに定める重点取組「事業所の質の向上の取組」)

実施可否欄及び対応可能な障がい種別欄に○印を記入し、本用紙を提出してください

		対応可能な障がい種別			
アセスメント 実施手法	具体的な確認内容	実施 可否	身体	知的	精神
アセスメント実施 計画書	事業所としてアセスメント実施計画書を作成し、それを活用して体系的に記録・判断できる ※アセスメント実施計画書(計画内容、実施方法、評価基準、就労アセスメント表、利用者へ提示するフィードバックの様式を含む)を添付	○	○	○	○
標準化検査	実施方法(ツール、手順など)を以下に記載 GATB(一般職業適性検査)/キャリアインサイト/就労移行支援の為のチェックリスト/MSFAS/BWAP2(ベッカー職場適応プロフィール) ※必要に合わせて上記の検査を実施。	○	○	○	○
職務(環境・課題) 分析	実施方法(視点、ツール、手順、場面設定など)を以下に記載 ※環境と共に職務の内容や一連の流れ、構造を分析できること(ワークサンプル、模擬的就労場面等と関連付けて実施できること。例えば「就労支援のためのアセスメントシート」における環境の視点を有すること) 模擬的就労場面および職場実習を通して、職務への適応状況や職場での適応行動・態度について観察・評価を行う。出勤から退勤までの一連の流れの中で、基本的な挨拶や報告・連絡・相談の実施状況を含め、職場のルールや指示の理解・遵守の程度、体調・疲労等の自己コントロールの状況を確認する。あわせて、コミュニケーション能力や対人マナー等、職場内で求められる基本的な社会的スキルについても評価・分析を行う。	○	○	○	○
ワークサンプル	実施している機器の種別(※)、実績(複数の使用年数・件数)及び具体的な実施・評価方法を以下に記載 ※ワークサンプル幕張版等				
模擬的就労場面	事業所で実施する場合にどのような環境で、どのような就労場面を設定できるか ※マニュアルや実績等の添付、または可能な手法を以下に記載 当事業所では、就労移行支援・就労継続支援B型で行っている生産活動や軽作業を活用し、作業室内での集団作業を中心とした模擬的就労場面を設定。作業内容は、検品・袋詰め・シール貼り・仕分け・箱折りなど、一般企業での軽作業を想定したものとし、実際の業務手順や職場ルールに準じて進行。環境面では、作業机・資材・指示書等を使用し、職場で求められる指示理解・集中力・協調性・作業速度などを評価できる環境を整えている。 必要に応じて個別課題(ピッキング・仕分け・数量確認など)を設定し、観察・評価を通して本人の作業特性・支援ニーズを明確化していく。	○	○	○	○
職場実習	職場実習の実績があり、必要とされるアセスメントを実施できる(具体的な実績を以下に記載) ○株式会社わらく堂での職場実習、施設外就労の実施。 ○株式会社digsy、株式会社ニトリでの職場実習の実施。 ○ビル清掃、民泊清掃の実施。	○	○	○	○

※上記6項目中4項目以上の実施が可能であり、かつそれぞれの項目において複数の障がい種別に対応可能であることが必要

※どのようなアセスメントが実施可能なのか利用者に分かりやすく示すこと(例:別表を拡大等して事業所内に掲示、利用者に個別に配布・説明)

※記載欄が不足する場合は欄の追加または別紙の添付可